

社会福祉法人 済生会 千葉県済生会習志野病院

〒275-8580 千葉県習志野市泉町1-1-1 http://www.chiba-saiseikai.com



金田さん(看護部長) 森田さん(副看護部長)

生活困窮者救済のため、全国で医療活動を行っている済生会様。そのひとつである習志野病院様では、クラークの方にローラ アシュレイのユニフォームをご着用いただいています。保険・医療・福祉のトータルケアにチーム医療で取り組んでおられる習志野病院様に、白衣選びのポイントや白衣に求める機能などについて、お話を伺いました。

おもてなしの心を、ユニフォームで表現。 その優しい色合いで、院内まで明るく。



一緒に働く仲間に、喜んでもらえる白衣選び。

クラークの方々の制服にローラ アシュレイをご採用いただいた経緯を教えてください。

森田さん(副看護部長):2019年4月に病院全体の白衣を切り替える際に、クラークの制服も検討することになりました。看護師は動きやすさを重視してスポーティなものを選びましたが、クラークは最初に患者さまをお迎えする仕事ですから、親しみやすさや優しさを備えたものが良いということになり、ローラ アシュレイを採用しました。

選んでいただく決め手になったのは、どのような点でしょうか?

森田さん:さまざまなサンプルを取り寄せましたが、

デザインが良くてもポケットがない、色が派手すぎるなど、思うようなものが見つからず難航しました。何着も並べてあれこれ思案する中で、住商モンブランからご提案いただいたローラアシュレイの白衣は優しくおだやかな印象があり、なおかつ患者様にとっても看護師との違いが明確にわかる点がポイントでした。洗濯試験も行い、強度や機能性などもしっかり確認して採用に至りました。決定まで、半年近くかかったと思います。

金田さん(看護部長):クラークからはワンピースが着たいという要望もあり、同じデザインでジャケットとワンピースが揃えられるところが魅力でした。ジャケットとワンピースを自由に組み合わせ、合計5着を支給しています。



実際に採用されてから、どのような変化がありましたか?

森田さん:困りごとや相談したいことなどある時に、患者様やご家族の方が、クラークのところに直接声をかけられるようになりました。誰が窓口なのか、はっきりわかるようになったのだと思います。金田さん:ほんわかした優しい色合いで、院内の雰囲気もぐっと明るくなりましたね。顔映りが良いので、みんな生き生きして表情も良く見えます。年代を問わず、女性を華やかに美しく見せてくれる白衣だと思います。

クラークの方々からのご感想はいかがでしたか?

森田さん:はじめてサンプルを見た段階からとても反応が良かったですし、気に入って着てもらえています。金田さん:クラークは患者様と医師・看護師をつなぐ、チーム医療には欠かせない存在。いつも非常に力になってくれます。今回のリニューアルでは、一緒に働くチームの一員として、クラークに喜んでもらえる白衣を選ぼうと思っていました。ローラアシュレイが着られるということも、モチベーションにつながっているのではないのでしょうか。



チーム医療は必然。 だから、ふだんの会話を大切に。

100年以上の歴史を持つ済生会様ならではの取り組みを教えてください。

金田さん:済生会は日本で一番大きい社会福祉法人として、40都道府県で医療・保健・福祉活動を展開しています。当院も地域の方の健康と福祉の増進に寄与することを理念として掲げており、地域の皆様に選ばれる病院をめざしています。また、医療によって生活困窮者を救済しようという理念のもとに設立された経緯から、生活に困っている人も等しく医療が受けられるよう、無料低額診療事業も行っています。

基本方針にも掲げておられますが、チーム医療を大切にされていると伺っています。

森田さん:そうですね、今の時代は多職種が連携しなければ、患者様が必要とされる医療を提供することは難しいと思います。例えば入院される患者様が高齢の方でしたら、退院されるまでにリハビリが必要な場合は理学療法士、介護保険を利用される場合はソーシャルワーカーと、皆で協力しなければ対応できません。医療と福祉を切れ目なくつないでいくためにも、多職種の連携は欠かせないですね。ひとりの患者様に関わる職種が増えているからこそ、クラークの存在は一際大きいと言えるかもしれません。

多職種連携がスムーズにいくように、心がけておられることはありますか?

金田さん:やはりふだんから意識してコミュニケーションを取ることでしょうか。当院は中規模の病院ですので、忙しい中でも声を掛ければ集まれますし、私はいつも看護部以外のスタッフとも気軽に話をします。職種の壁を超えて、全員が同じ目標に向かって努力するというのはなかなか難しい面もありますが、一緒に働く大切な仲間として、お互いが気持ちよく仕事ができるように努めています。



今回の取材中、白衣選びにおけるお心遣いや、看護師、クラークの皆様がとても信頼しあってお仕事をされているのが伝わりました。撮影中にクラークの方から、「患者様から好評です」というご感想もいただき、大変光栄です。これからも、皆さまのお役に立てる、ご期待に添える白衣を作り続けてまいります。